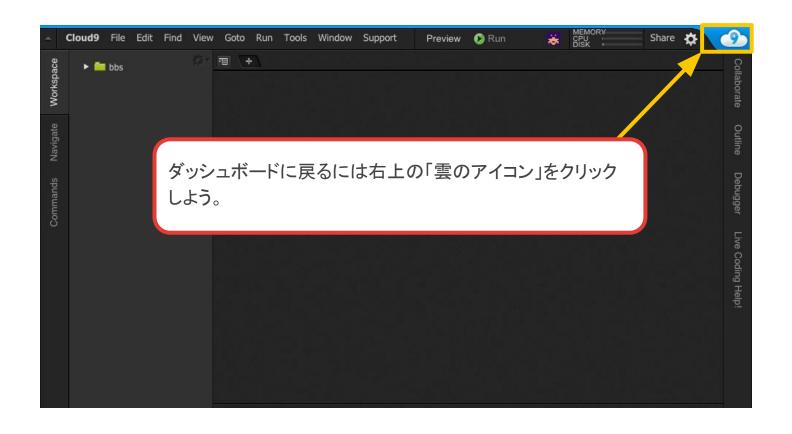
家計簿アプリ

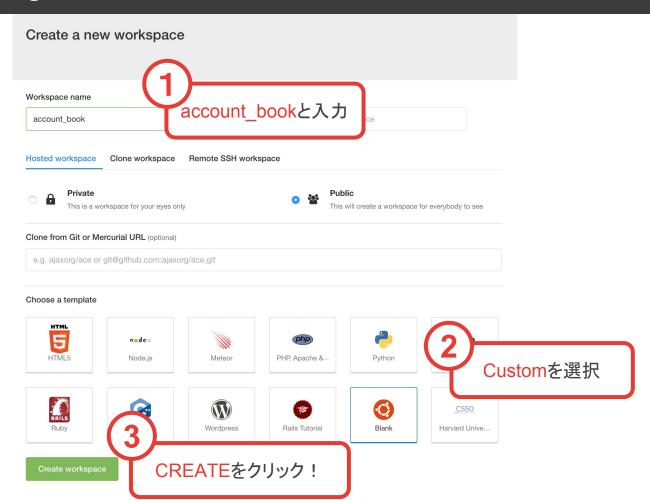
オリジナルアプリ制作

Webサービス開発コース

開発の準備をしよう①



開発の準備をしよう②



プロジェクトを空にしよう!

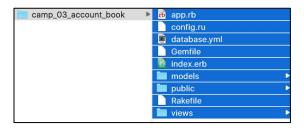
プロジェクトが作成されます。 次のページで、素材ファイルを取り込むので、README.mdを削除しておこう。



フォルダをアップロードしよう!



フォルダの中身はこんな風に 選択しよう!



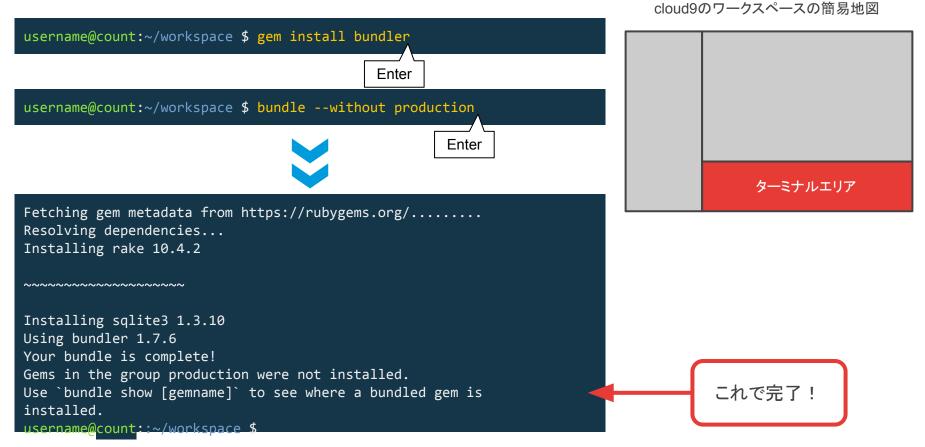


これで準備完了です!



必要なプラグインをインストールしよう!

ターミナルで次の2つのコマンドを入力してEnterを押そう!





どのような機能が必要なんだろう?

- ・商品名と金額が登録できる
- ・現在の合計金額が表示される

今回はこの2つの機能をつけていくよ~!

まずはデータベースの準備をしよう!

- ①商品名と金額が登録できる
- ②現在の合計金額が表示される

この2つの機能をつけるために必要なデータを考えよう!

①は最低限、商品名(title)と金額(price)が必要だから、このカラムを持つテーブルを準備しよう!

8 6 3 -

↑データベースのイメージ (ここに1列づつデータが追加されていくよ) まず、titleは文字列なので<u>string(文字列)</u>、priceは数字なので<u>integer(整数</u>)という型にするよ!

(整数:..-2,-1,0,1,2...といった符号付きの1刻みの数字!)

次のページからデータベースを作るためのファイルを作るよ!

マイグレーションファイルを生成しよう!

データベースをつくるのに必要なマイグレーションファイルを作っていくよ!

下のようにコマンドをターミナルに入力してEnterを押そう!

username@account_book::~/workspace \$ rake db:create_migration

NAME=create_items

db/migrate/20150515081154_create_items.rb

The bookmark

The bookmark

The bookmark

The migrate

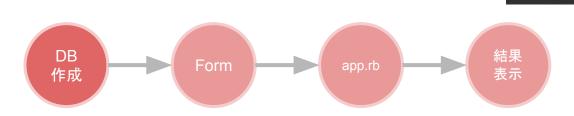
20150513061458_ci

▶ ■ models
▶ ■ public

▶ iii views

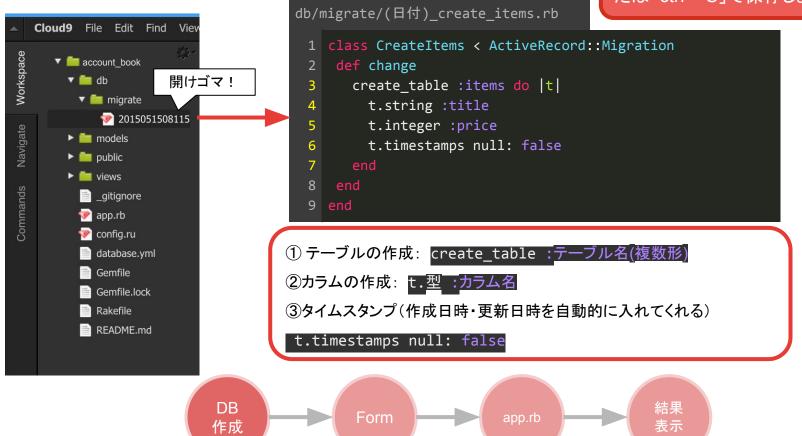
gitignore app.rb

このファイルが「db/migrate」の中に生成されたよ!



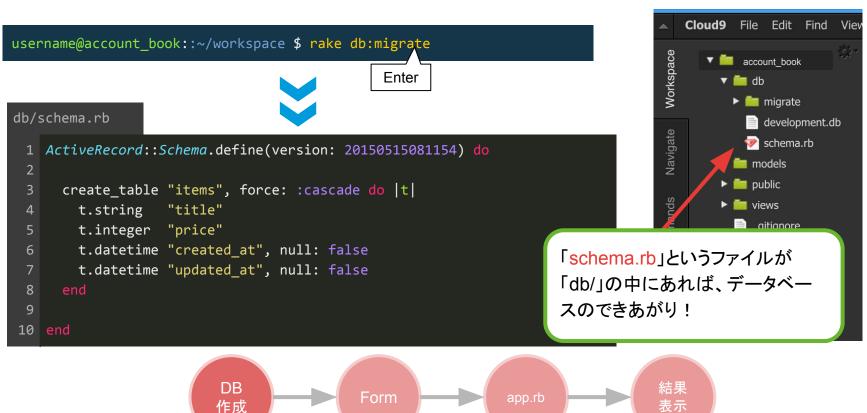
マイグレーションファイルの中身を書いていこう!

書き終わったら「command + S」または「ctrl + S」で保存しよう!



マイグレーションファイルを反映させよう!

ターミナルで次のコマンドを入力してEnterを押そう!

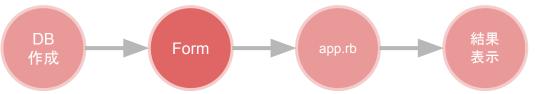


フォーム(投稿画面)をつくろう

書き終わったら「command + S」または「ctrl + S」で保存しよう!

viewフォルダの中にあるindex.erbを下のように書いてみよう!

```
views/index.erb
 9 <body>
10
11
    <form action="/create" method="post">
      <label for="title">商品名</label>
12
        <input type="text" name="title" id="title">
13
14
      <label for="price">金額</label>
15
        <input type="text" name="price" id="price">
        <input type="submit" value="追加">
16
17
    </form>
18
   </body>
   </html>
```



テンプレートを読み込んでみよう!

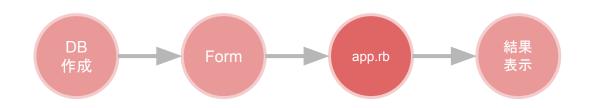
書き終わったら「command + S」または「ctrl + S」で保存しよう!

app.rb を開いて、下のコードを追加しよう!

```
require 'bundler/setup'
Bundler.require
require 'sinatra/reloader' if development?

require './models/item.rb'

get '/' do
erb :index
end
```



サーバを起動して確認しよう!

ターミナルで次のコマンドを入力してEnterを押そう!



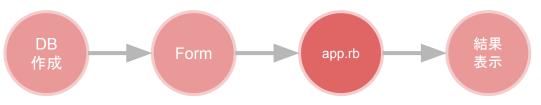
フォームから飛んでくるデータをデータベースに保存しよう!

app.rb を開いて、下のコードを追加しよう!

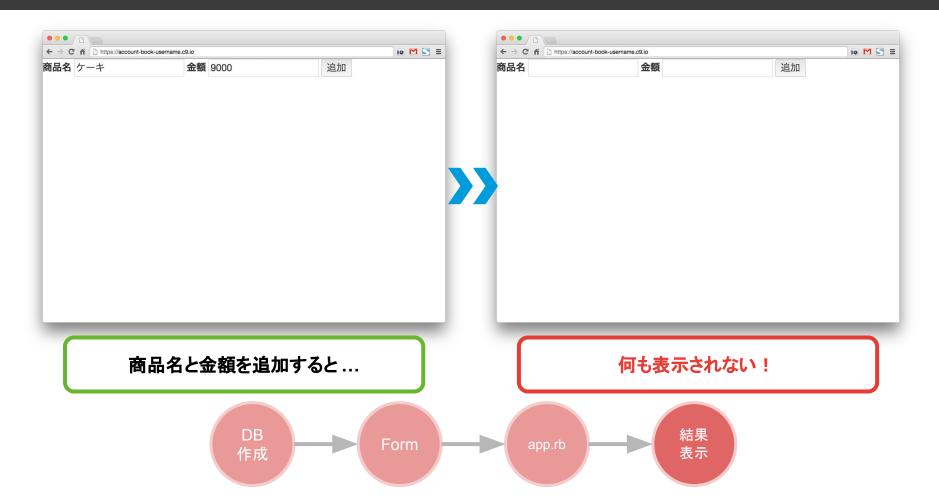
書き終わったら「command + S」または「ctrl + S」で保存しよう!

```
app.rb
 7 get '/' do
     erb :index
10
    post '/create' do
     Item.create({
13
         title: params[:title],
14
         price: params[:price]
15
16
17
    redirect '/'
18
```

redirect '/' を使うと別ページに飛ばすことができるよ!コードを読んでみると、*Item* にデータベースを作成した後に、トップページにリンクを飛ばしているよ!



もう一度、フォームに何か投稿して、確認してみよう!



データベースの中身を確認してみよう!

①「control + C」でサーバ停止

②「sqlite3 db/development.db」を入力

③「select * from items;」を入力

control + C ^C== Sinatra has ended his set (crowd applauds) [2015-05-13 14:29:35] INFO going to shutdown ... [2015-05-13 14:29:35] INFO WEBrick::HTTPServer#start done. username@bookmark:~/workspace \$ sqlite3 db/development.db SQLite version 3.8.2 2013-12-06 14:53:30 Enter Enter ".help" for instructions Enter SQL statements terminated with a ";"_ Enter sqlite> select * from items; 1|ケーキ|9000|2015-05-15 08:48:03.532844|2015-05-15 08:48:03.53284 sqlite> フォームに入力したものが表示されているかな? メンターに確認してもらおう!

DB 作成 Form app.rb 結果 表示

「商品名」と「金額」を表示しよう!

書き終わったら「command + S」または「ctrl + S」で保存しよう!

 Item.all
 でデータベースに保存されている

 Item
 を呼び出して、 @items
 に格納するよ!

 ("="は代入という意味)

- @items.each ですべての Item を 一個一個取り出して item という変数に 入れているよ!
- 2. item.title で商品名を、
- 3. item.price で金額を、

それぞれとりだしてるよ

```
app.rb
 7 get '/' do
     @items = Item.all
     erb :index
10 end
views/index.erb
    <form action="/create" method="post">
    </form>
16
17
18
    <div>
      /<% @items.each do |item| %>
19
       <div> 2
20
21
          <%= <u>item.title</u> %>
22
         <%= <u>item.price</u> %>円
23
       </div> 3.
      <% end %>
24
     </div>
```

サーバを起動して表示を確認しよう!

```
sqlite> .exit と入力してsqliteを終了させよう。
そして、ruby app.rb -p $PORT -o $IP と打ってEnterを押してサーバを起動しよう!
```

```
sqlite> .exit

username@account_book:~/workspace $ ruby app.rb -p $PORT -o $IP

[2015-05-13 14:46:03] INFO WEBrick 1.3.1

[2015-05-13 14:46:03] INFO ruby 2.1.5 (2014-11-13) [x86_64-linux]

== Sinatra/1.4.5 has taken the stage on 8080 for development with backup from WEBrick

[2015-05-13 14:46:03] INFO WEBrick::HTTPServer#start: pid-20520 port-8080
```

サーバを起動したら、ページを確認してみよう! データベースの中身が表示されたかな?

きちんと表示されるか確認しよう!



合計金額を表示しよう!

書き終わったら「command + S」または「ctrl + S」で保存しよう!

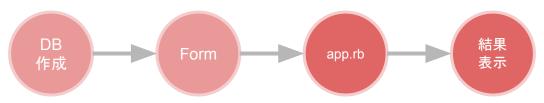
```
app.rb

7  get '/' do
8  @items = Item.all
9  @total = Item.sum(:price)
10  erb :index
11 end
```

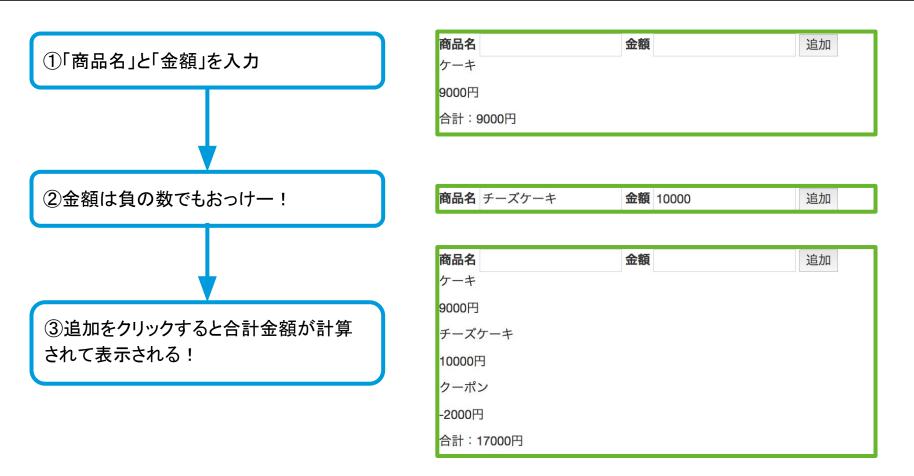
```
| Item.sum(:price) で Item の
|price の合計を返してくれるよ!
```

```
views/index.erb
    <div>
      <% @items.each do |item| %>
      <div>
20
        <%= item.title %>
        <%= item.price %>円
22
23
       </div>
24
     <% end %>
    </div>
    <div>
26
     合計:<%= @total %>円
27
    </div>
28
```

```
app.rb から飛んでくる @total を index.erb で表示させるよ!
```



サーバを起動して表示を確認しよう!



完成!

この教科書から他の機能を作る教科書に続くよ!



家計簿アプリの基礎部分ができあがったよ! ここからは好きな機能を選んでつくってみよう! カテゴリー機能

編集•削除機能

グラフを表示する

Tips - データベースを作る流れ

カウントアプリではもとからデータベースが作成されている素材を使いましたが、ブックマークアプリと家計簿アプリではデータベースは自分で作成しました。

データベースが作成されるまでの流れを追ってみましょう!

①マイグレーションファイルを作成する

```
$ rake db:create_migration NAME=create_items
```

②①で作ったマイグレーションファイルを編集する

```
db/migrate/20150515081154_create_items.rb

1   class CreateBookmarks < ActiveRecord::Migration
2   def change
3    create_table :items do |t|
4     t.string :title
5    t.integer :price
6    t.timestamps null: false
7   end
8   end
9  end</pre>
```

↑カラムの名前と型を指定します



Tips - schemaって?

\$ rake db:migrate コマンドが通ると、自動的に schema.rbが作成されます。このファイルは、マイグレーションファイルに書かれた内容を反映させたデータベースの内容が自動的に書かれるので、自分で書き換えるということはしません。マイグレーションが上手く通ったかの確認に使いましょう!

マイグレーションファイル

```
db/migrate/20150515081154_create_items.rb

1   class CreateBookmarks < ActiveRecord::Migration
2   def change
3    create_table :items do |t|
4        t.string :title
5        t.integer :price
6        t.timestamps null: false
7    end
8   end
9   end</pre>
```

schema

```
db/schema.rb

1  ActiveRecord::Schema.define(version: 20150515081154) do
2  create_table "items", force: :cascade do |t|
3  t.string "title"
4  t.integer "price"
5  t.datetime "created_at", null: false
6  t.datetime "updated_at", null: false
7  end
8 end
```

